

(2023年9月11日)

https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/guidelines/64haienlinenashi_230913.pdf

- 2) 日本感染症学会:65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方(第4版)。(2023年3月24日)

https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/guidelines/o65haienV/o65haienV_230324.pdf

- 3) CDC:Pneumococcal Vaccination;Summary of Who and When to Vaccinate.

<https://www.cdc.gov/vaccines/vpd/pneumo/hcp/who-when-to-vaccinate.html>

【回答者】

藤倉裕之 兵庫県立尼崎総合医療センター
感染症内科医長

■ 形成外科

あばら骨の形は治せますか？

【胸部の変形は稀な疾患ではなく、手術により治療が可能である】

Q あばら骨の形は治せるでしょうか。

4 香川大学・永竿智久先生にご解説をお願いします。

【質問者】

諸富公昭 大阪公立大学大学院医学研究科形成外科学
准教授

A 胸部は胸骨・脊椎・肋骨・肋軟骨より構成

4 されています。「あばら」は俗語で、その定義は今ひとつ不明確です。狭義には肋骨のみを指しますが、患者さんが「あばら」の形を治してほしいと言って受診する場合、肋骨ならびに胸骨の部分を意味していることが多いようです。すなわち、胸郭の前方ないし側方の部分です。

これらの部分の変形には大きく2つの原因があります。1つは肋骨骨折など外傷の後遺症、もう1つは先天変形です。いずれの場合でも胸郭の形を

治すことは可能ですが、頻度としては先天変形の場合が圧倒的に多く、300人ないし500人に1人の頻度で見られます。

陥没した変形を漏斗胸^{ろうとうきょう}と言い、突出した変形を鳩胸^{はとむね}と言います。前者と後者の割合は10対1程度であると言われています。したがって、私たち胸郭外科医が日常の診療で目にする患者さんのほとんどは、漏斗胸の患者さんです。

一口に漏斗胸と言っても、様々なタイプの変形が存在します。最も多いのは「みぞおち」の部分に陥没したタイプです。このタイプは、金属性のバーを手術で胸壁に装着する、いわゆる「ナス法」という方法で比較的簡単に治すことができます。特に小児の治療は容易です、軟骨が柔らかいので矯正に反応しやすいからです。しかし年齢が増すにつれて肋軟骨は硬くなるので、骨切りなどの操作を追加しなくてはなりません。その分だけ治療の難易度は上がります。

漏斗胸の中で、最も治療の難易度が高いのは女性の漏斗胸です。治療が難しい理由は、胸壁の形だけではなくて乳房の形も美しく仕上げなくては、良い結果が出せないからです。乳房は胸郭の上に乗っておりますので、胸郭の形を修正すれば乳房の形も変化します。それゆえ、胸壁の手術に加えて、乳房の手術についても習熟している医師が治療することが大切です。

漏斗胸の治療で大切なことは、胸の「かたち」のみならず、心肺機能も同時に改善させることです。この点、脂肪を腹部より採取し、これを胸部に移植することで「かたち」のみを修正する医師もいるようですが、当然、機能の改善は期待できません。漏斗胸の患者さんを他の医師に紹介する場合には、こうしたことに留意して紹介先を選ぶようにしましょう。

【回答者】

永竿智久 香川大学医学部形成外科・美容外科教授